

IV 事業概要

1 学芸事業

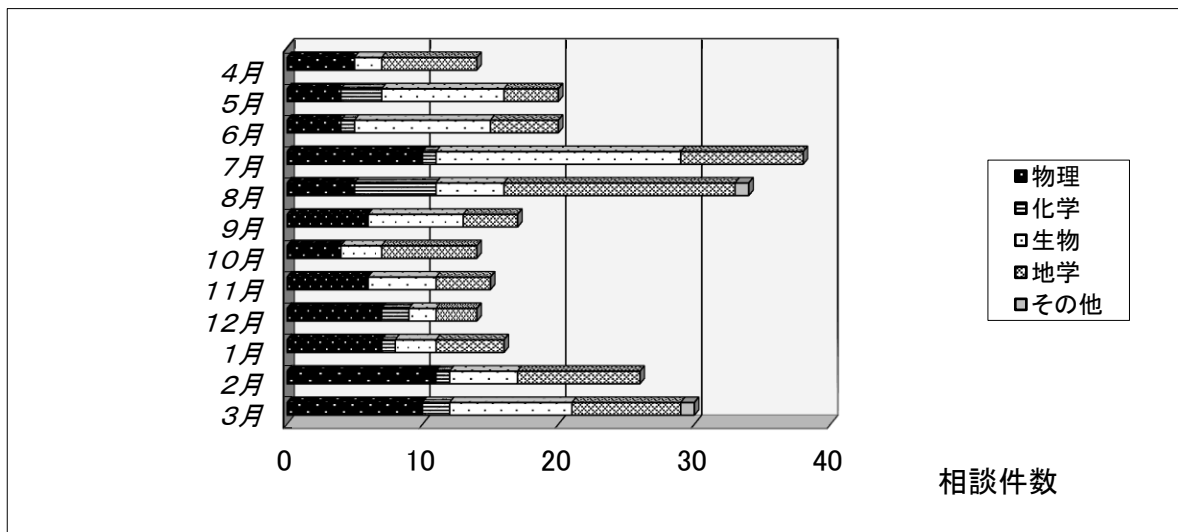
【2 調査・研究, 収集・収蔵・保管, 科学相談等】

(3) 科学相談

科学相談は市民からの科学に関する問い合わせに応じて、学芸員・指導主事・社会教育指導員が対応している。相談形式は、来館によるもの、電話によるもの、インターネット(メール)によるものおよび手紙によるものを対象としており、随時対応している。

31年度(令和元年度)の相談件数は258件であり、30年度の250件と同水準であった。分野別では地学82件、生物78件、物理79件など、市民や報道関係者から岩石や化石、昆虫に関する質問などが持込や電話で寄せられた。昨年度から、物理の相談件数が増加しているおり、主な内容はロボットの仕組みや作り方、科学工作の相談である。全体的に、毎月20件程度の相談を受け付けているが、7月、8月は30件を超え、全体の20%程度の相談を受け付けている。これは夏休みの自由研究に関する相談が多くなるためと考えられる。特に、化石・岩石・植物・昆虫の同定に関する相談が多く寄せられた。また、3月の相談件数が目立った。

<月別領域別相談件数>



<相談者区分>

